

令和4年度 佐賀県緑化運動・育樹運動ポスターコンクール審査会

【審査員講評】

【全体】

- ・緑の中に人や動物が描かれている作品が多く、子どもたちも共生を意識しているんだなと感じた。学年に応じて、色のぬり方や構図に工夫があり楽しみながら審査ができました。
- ・小学生の作品は、緑とふれあう事の喜び、楽しさが伝わる、のびのびとした物が多く親しみを感じました。
- ・中・高生は、テーマにもとづき、レイアウトや配色表現方法を工夫し完成度の高い作品が多くありました。
- ・緑の大切さを訴える作品が多く、人の手で自然を守っていかなければならないという気持ちが込められていることが感じられた。

【最優秀賞(小学生の部)】

- ・植樹している様子が手に取るように分かりました。1人1人の行いが緑化育樹につながるがよく描かれていました。
- ・自分の身近な風景と植樹を結びつけ、緑を生活の中の一部として大切にしている気持ちが伝わり、親しみと愛情を感じました。
- ・緑が多くあることの素晴らしさが紙一杯に表現されており、緑があることによる気持ちよさが伝わってきた。

【最優秀賞(中学生の部)】

- ・透明感のある中に緑が伸び伸びと成長していく様子がうまく描かれていました。作品の中にいる動物も丁寧に仕上げられていました。
- ・透明感あふれるさわやかな作品の中に、植物や動物たちの生命力を感じ、豊かな自然を表現されていました。レイアウトもパズルの形を取り入れ工夫されていました。
- ・木を育てることで、人も動物も幸せになれることを表現しており、木を大切にしていこうという気持ちが伝わってきた。

【最優秀賞(高校生の部)】

- ・明るい光が印象に残りました、緑や動物が生き生きと描かれ、インパクト十分の作品でした。
- ・地球や大自然そしてその中に生活する、動物などを守るという大きな視点で描かれており、レイアウトも工夫されていました。優れた描写力も作品の完成度を高め、すばらしいポスターとなっていると思います。
- ・緑に対する表現の仕方に個性を感じる作品が多く、それぞれの緑を大切にする想いが伝わってきた。